

ロシア政府によるウクライナ侵攻と 無差別な軍事破壊攻撃に対して強く抗議する

ロシア政府は、2月24日に隣国ウクライナに対しての軍事攻撃を開始しました。国際平和を希求すべき国連安全保障理事会の常任理事国のひとつであるロシアが、核の脅威も盾に自ら国際法に抵触する行為に及んでいることに対し、断固として抗議します。

軍事侵攻の開始からまもなく2週間が経とうとする現在においても、ロシア軍は攻撃の手を緩めることなく、ウクライナに住む人々の日常を破壊し、生命を脅かし、人々を恐怖の渦へと巻きこんでいます。また、ロシア軍による無差別攻撃は、学校や大学といった教育機関にまで甚大な被害を及ぼしており、教職員や学生の命までもが危険に晒されています。子どもを含む多くの命が失われていることに、私たちは怒りを禁じえません。

加えて、ロシア政府がウクライナの原子力発電所をも攻撃対象としていることも看過できません。原発への攻撃は国際法でも禁止された行為であり、前例のない暴挙に国際社会からも非難の声が上がっています。万が一、原発が危機に晒されれば、極めて甚大な被害が生じることは火を見るよりも明らかです。

私たちは、ロシアによる軍事侵攻の即時停止を求めるとともに、この問題が暴力によってではなく、平和的な手段によって解決されることを強く望みます。

2022年3月9日

関西私大教連執行委員会